

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
1.使命と計画					
①中長期計画					
A. 目標と計画・重点事業の構築、事業への活用	<ul style="list-style-type: none"> 目標の設定、具体的計画の策定状況 事業への活用状況 	策定した目標・計画を履行した	24年度に館内会議等を経て構築された再構築基本計画を職員に周知した上で、実施している。24年度～26年度までの目標である「①特別展開催(25年度)、②サイエンスドームでの映画上映(25年度)、③音声ガイドの提供(25年度～)、④教員のための博物館の日の開催(26年度～)、⑤展示・運営協力会の20周年記念事業への参画(26年度)についてはおおむね達成されたと考えている。	再構築基本計画に基づき、27年度～の5カ年計画の実践とそと合わせた内容の改訂	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・再構築基本計画に沿って実施してください。【戸枝】			
②評価の実施					
A. 評価の実施と結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価及び外部評価の実施状況 P.D.C.A.サイクルへの反映状況 	自己評価・外部評価については、毎年実施している	主な事業について、1月末に館内で報告会を行い、改善点・課題等について、職員全員で情報等を共有、改善できる点については改善を実施し、次年度に繋げられるような方策を考えた。	指摘のあった点については、さらに改善を進めたい	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・結果所見について継続してください。報告等の蓄積が必要と思います。【戸枝】			
2.組織と運営等					
①組織・人員					
A. 職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> 研修への参加体制の整備状況 参加状況(種類・件数・人数) 	専門職員としての研修・県職員としての研修等に積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計事務基礎研修 1 ・財務会計事務実務研修 1 ・財務会計年度末事務研修 1 ・コンプライアンス研修 1 ・メンタルヘルス研修 1 ・トップセミナー 1 ・新所属長研修 1 ・育成指導者研修 2 ・新規再任用職員研修 1 ・主査級研修 1 ・危機管理担当者研修 1 ・博物館長研修 1 ・教育庁転入職員等研修 2 ・博物館学芸員専門講座 1 ・千葉県博物館・美術館等職員研修 2 ・文化財管理指導者研修 1 ・千葉県博物館協会研修会 1 ・関東地区博物館協会研修 1 ・学芸員専門研修アドバンスト・コース 2 ・ミュージアムIPM研修(初級) 1 	昨年度に加え、専門職員としての研修・県職員としての研修等に積極的に参加する。	【課題】専門研修の受講者が少ない 【改善案】可能な限り職員を研修に出し、学芸員としての知識の習得に励めるような状況を作っていきたい。
有識者所見		・研修とともに他館が実施している各種、関係する催物等にも参加し、事業の開催方法等を参考にすることも考えたらどうでしょう。【戸枝】			
②県民ニーズに則した運営					
A. 利用者数	<ul style="list-style-type: none"> 当該年度の利用者数 前年度比較による傾向 	入館者数180,000人を目指します。	26年度は195,808人。前年度比34,421人増。開館20周年や入場者500万人のイベントを始め、夏のプラネタリウムの入館者が大幅に増えたため、総来館者も増加した。	入館者数185,000人を目指します。	【課題】団体利用者の大半が雨天時に集中する 【改善案】晴天時でも来てもらえるような体験等の充実を図る
B. 満足度・ニーズ等の調査	<ul style="list-style-type: none"> 実施方法と結果 結果の事業への反映状況 	継続	利用者からの声を通年で受け付けている。また、企画展等で行うアンケート調査から、利用者ニーズの把握に努めた	継続	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・団体の貸出キットの紹介も行った方が良いと思います。雨天時利用の属性調査が必要と思います。(どの方面から、学年は、時間、人気のある展示は)【戸枝】 ・天候に関係なく来館者が利用したくなるような、各年齢層に魅力的な体験プログラムの開発を引き続き優先的に行ってほしい。【黒田】			

大項目 中項目 細目	評価の視点	自己評価			課題と改善案
		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
3.施設・設備					
①アメニティーの向上					
A. バリアフリー	・バリアフリー対策の実施状況	継続	バリアフリーに対応している。1階と2階の展示室の移動はエレベーターで対応している。また、サイエンスドームへは、車いすも2階から入ることができる。	継続	【課題】エレベーターの容量が小さく、一度に車いすがぎりぎり2台しか乗らない。 【改善案】エレベーターの容量を大きくするのが一番だが、多額の費用がかかり現実的でない。
B. アクセス	・交通機関(含誘致)と駐車場の状況 ・アクセス案内の状況	継続	普通車80台、大型バス8台分のスペースを確保、市川市コミュニティバス停留所が敷地内にある。また、館の前には京成バスのバス停が新たにできた。なお、アクセス案内はHPに写真入りでアップしている。	継続	【課題】特になし 【改善案】
C. ミュージアムショップ	・利用者満足度とニーズの把握状況 ・結果の反映状況	継続	入館者から寄せられた商品のニーズについては、運営元の県教育振興財団に伝え、販売実現を依頼した。	継続	【課題】週1日(土・日いずれか)程度しか開いていない。 【改善案】団体等から事前に話ができれば職員が対応する。また、今後の運営方法について、協議している。
有識者所見		・最寄駅(鬼越)から館までの案内看板について検討が必要と思われる。【戸枝】			
4.財源					
①予算の確保					
A. 入場料収入・その他の事業収入	・当初計画に対する収入の達成状況 ・その他の収入の状況	11,186千円 2,217千円	プラネタリウムが好調だったため、前年度に比べて収入増になった(トータルの収入では、昨年度比1.82倍、851万円増)。今後も収入確保のため、有料入場者数増への取り組みが必要である。 概ね目標値どおりの結果であった	15,192千円 2,693千円	【課題】入館者は増えているが無料入館者が多いため、収入増にはなかなか結び付かない 【改善案】体験者に付き添いの大人からの入館料の増収を目指す
有識者所見		・改善案については、検討が必要でしょう。参加者減少になっては、元も子もなくなる。【戸枝】			
②館独自の財源獲得					
A. 外部助成金等の獲得	・獲得計画に対する達成状況	2件以上	1件 480千円 ・全国科学系博物館活動等助成 480千円(特別展資料制作委託他)	2件以上	【課題】採択件数の増加 【改善案】申請数の増加
有識者所見		・継続し、獲得するよう努力してください。イベント時に、材料費(現物)等の協賛がいただけるようになりませんか。【戸枝】 ・採択されたケースと不採択となったケースを比較分析し、新たに申請を行う際に、採択に至ったノウハウを館内で共有生かした欲しい。【黒田】			
5.収集・保存及び活用					
①資料の管理と収集					
A. 収蔵点数と収集点数	・収蔵資料の件数と点数 ・新収集資料の件数と点数	前年度並みの点数を目指します。	①購入 91点 (H26:1点) ②寄付 1,761点 (H26:324点) ※寄託から寄付へ変更 ③保管換え 693点 ④寄託 5件6点(H26:-291点) ⑤借用 2点 (開館以来の累計) 2,553点	購入費のための外部助成金の獲得数1件以上	【課題】購入等予算の確保 【改善案】購入費のため、外部助成金の獲得等を進める。
B. 登録	・収蔵資料の管理(台帳等整備)状況	100%	100% 受入と同時に登録した。	100%	【課題】特になし 【改善案】
C. 維持管理と修復・保存処理	・定期的な維持管理の実施状況 ・資料の修復作業・保存処理の状況	収蔵庫の週1回の安全点検 毎日の状況報告 週1回の点検報告	定期的な維持管理を行った。また、収蔵庫に関しては温・湿度記録を定期的にチェックし管理を徹底した。	収蔵庫の週1回の安全点検 毎日の状況確認 週1回の点検報告	【課題】収蔵品の状況にあわせた修理計画の作成 【改善案】修理の緊急度に順位付けを行い、予算の範囲内で修理を行う。実験装置の稼働率を向上させるため、状況を詳細に確認して、早めの修復を行う。
有識者所見		・館として収集する必要がある資料等をリスト化する。【戸枝】 ・稼働展示物に故障がないようにしてください。改善案に沿って行ってください。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②資料の活用					
A. 要望に応じた貸出等	・研究や展示等、資料の貸出状況	2件以上	実物資料貸与件数2件(50点)	2件以上	【課題】特になし 【改善案】本館の収蔵資料が他館の展示に利用されるケースが少ないのでデータベースの構築を継続する
有識者所見		・改善案に沿って進んでください。展示資料が抜けるのは避ける。資料の特徴から借用件数は少ないでしょう。【戸枝】			
③図書室の公開					
A. 図書資料の閲覧	・閲覧システムの構築状況 ・利用状況と利用者満足度	継続	子ども向け図書、一般・専門書籍を配架し開館時間内は自由に閲覧可能。必要に応じて職員が対応。収蔵冊数15,840冊(前年度比404冊増)。	継続	【課題】図書購入費がない 【改善案】各館協力して予算要求を進める
有識者所見		・継続して予算要求してください。【戸枝】			
6.調査・研究					
①調査事業					
A. 調査事業の件数	・使命に基づく調査研究の実施状況	7件	(研究報告5件) これらは、研究報告成果としてHPで公開している。その他、各自が使命に基づいた研究テーマを設定し調査・研究を行った。	7件	【課題】継続的な調査の実施 【改善案】報告内容について単年度事業が多い状況だが、年度を越えた長期の調査実施する。
有識者所見					
②外部との調査・研究					
A. 外部との調査研究の件数	・共同研究等の実施状況	2件以上	0件	2件以上	【課題】外部と共同研究が可能なベテラン学芸員の確保 【改善案】若手・中堅職員について、短期間で異動する職員人事を是正してもらうよう主務課に依頼。
有識者所見		・館の性格上、外部研究機関との共同研究は難しいと思いますが、貸出キットや教材研究開発も探ってみてください。【戸枝】			
③研究成果の発表					
A. 展示等への反映	・展示への反映状況 ・普及事業への反映状況	7件	5件 (H25:4件) 企画展 広報(館内サイン) 学校支援(総合的な学習)利用(プラネタリウム上映会) 学校連携(教員のための博物館の日)	7件 (可能であれば印刷・発刊)	【課題】反映数の増加 【改善案】企画展での研究成果が常設展示で活かされる様、長期的な視野で研究を行う
有識者所見		・改善案に沿って進んでください。【戸枝】			
7.展示					
①常設展示					
A. 展示の更新と保守・点数	・展示替の実施状況 ・保守・管理の実施状況		・外部予算(全国博物館助成)により、特別展で作成した実験装置を常設展示に追加。 ・企業協力により常設展示に新規展示の追加(痛みの少ない注射針、無反射フィルム) ・保守点検業務 常設展示保守点検業務 展示映像機器保守点検業務 電カシアター保守点検 鉄鋼シアター保守点検 川鉄千葉1号高炉模型保守点検 液体窒素製造装置保守点検 電子顕微鏡保守点検 炎色反応実験装置保守点検 の年間契約を結び、延べ約50回の点検を実施。 緊急点検「ウォーターロケット」の衝撃吸収ダンパ、「うずまき」水位センサ調整 部品交換「放電実験室」浴面ガラス昇降モータ		【課題】新規展示の追加 装置の老朽化による故障の増加 サイエンズドームの有効活用 【改善案】展示・運営協会やそれ以外の企業などへの調査活動・展示資料の提供依頼などを計画的に進めていく。 展示場の大型装置の修繕維持計画を作成し予算化に努める。 点検結果による合理的な保守計画 サイエンズドーム開催事業の活性化

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目	評価の視点				
B. 満足度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度の把握状況 結果の反映状況 		<p>来館者アンケートを実施している。アンケート内容を見ると、プラネタリウムを明るくしてほしいなどの要望系のものが多い。ただ、現実的には要望にすぐ答えられる内容のものは少ない。</p>		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		<p>・展示の特徴上、メンテナンスは必需です。不具合がないよう注意を払ってください。【戸枝】</p> <p>・入場者のニーズや要望に対して、その本質を見極めることが重要です。すぐにできるか、できないかではなくその背景から改善点を見いだすべきと考えます。【飯田】</p>			
②企画展示(変更)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 年齢・地域等入場者の動向把握 来館者満足度の状況 	前年度並みの満足度	<p>生物のたくみなデザイン・機能・しくみを紹介し、そこから着想を得た新しい技術が、私たちの生活にどのような変革をもたらすかを考える機会とし、展示・関連イベントの2つの提示方法で計画し実施した。それぞれ各年齢層に対応するようにした。</p> <p>【講演会】 (168人) 「みんなでミクロの世界を探検しよう」「深海の生き物の観察から進化を探る」「ミクロの決死隊 ナノスーツ法の秘密」「電子顕微鏡ってな～んだ?」「モルフォチョウをまねたものづくり」「生き物が教えてくれる未来のテクノロジー」</p> <p>【関連イベント】 「顕微鏡体験」(133人) 「ハチドリひこうきワークショップ」(134人)「透明な液体に漬けると色が変わる模倣タマムシ」(54人)「驚異の生命力、ネムリユスリカ」(30人) 「ぶつからないロボットカー実演」(39人) 「日産わくわくエコスクール」(50人)「千葉県少年少女発明クラブ絵画展」「市川工業高等学校インテリア科バイオメテイクス関連展示」 現代産業科学館展示・運営協力会主催開館20周年記念講演会「さかなクンのギョギョッとびっくりお魚のヒミツ」(280人)</p> <p>小学生が40%台、例年は1～2%の割合である20代と大学生が、今回の企画展では多いことが特徴であった。実際、高校生・大学生の入館者数は例年の2倍近くであった。ポスターを例年に比べ、より多くの高等学校や大学に配布したためと会期後半に口コミやSNSなどで広まったことが要因と思われる。</p> <p>“とてもおもしろかった”と“おもしろかった”をあわせて96%が良い評価をくださった。工業製品だけでなく、生物についても紹介しており、これまで気づかなかったことを改めて知ることにより関心を深めることができたためではないか。</p>	80%以上の満足度。	【課題】各年齢層への対応 【改善案】幅広い年齢層に合わせた展示で多くの来館者を迎えること下できた。特に、高校生大学生が著しく増加した。展示の手法に加え、例年よりも広範囲に広報したことが功を奏したものである。
有識者所見		<p>・企画展開催に伴う広報効果か、露出数が増えた。【戸枝】</p> <p>・関連するイベントの参加者が増えた。効果的なイベントであった。【戸枝】</p> <p>・共同研究のヒントになると思います。【戸枝】</p> <p>・高校、大学生の専門はなんでしょうか。【戸枝】</p> <p>・定員に対する充足率が低かったイベントがなぜそうなったのか、などを分析把握し、次回企画時に、その分析を生かしてほしい。効果的な広報ができたことがうかがえる。今後に生かして欲しい。【黒田】</p>			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
③企画展示(変更なし)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 年齢・地域等入場者の動向把握 来館者満足度の状況 	10回程度	<ul style="list-style-type: none"> ○特設コーナー(5回) ・風洞実験装置 ・千葉工業大学工学部デザイン科学科 ・日本大学生産工学部創生デザイン学科 ・市川工業高等学校インテリア科関連展示(企画展関連) ・バイオミメティクス ミニ展示(企画展関連展示) ○ワークショップ ・フライトシミュレーター 52回 1,075名 ○ドームギャラリー(4回) ・白熱電球(48,391人) ・メグスターへの道(69,317人) ・真空管展(53,446人) ・深海展(20,537人) ○エントランスホール ・企画展関連展示 ・T型フォード ・スバル360 	10回程度の目標とするが、昨年度より内容を充実したものとする	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】広報宣伝予算の確保 【改善案】インターネット等を利用した広報を促進するとともに、話題性の高い展示を行う
有識者所見 ・高校、大学等との連携がうまくいったと思う。今後も連携を進めてください。【戸枝】					
④館外での展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況(要望件数等) ・利用者が満足しているか 	0件	展示に関する要望は特に無いが、年間17件の出張講座の依頼があり、848人に希望する実験等を演示した。	0件	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】主な資料が現在産業の資料のため、なかなか館外では展示しにくい。 【改善案】代わりに出張講座等の体験講座を実施している。
有識者所見					
⑤他館との合同企画による展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況(ネットワーク) ・利用者が満足しているか 	0件	理工系の博物館のため、なかなか他館との合同企画にはそぐわない。また、資料運搬費等の予算の目途が立たないため事業の実施を推進できない。	0件	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】予算の獲得 【改善案】企画展示には至らないが、資料の借用・貸与などの連携はひろげていきたい。
有識者所見 ・結果所見のとおりだと思います。常に連携の機会を探ってください。【戸枝】					
8.教育普及事業					
①参加体験事業					
A. 日数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 種類と日数、参加者数 ・参加者は満足しているか 	200回・満足度80%	202日(前年度比+15回) 実験工作・体験教室(158)/サイエンスショー(5)/講座(14)/乗車会(12)/上映会(1)/イベント(9)/コンサート(3) ※1日に最大10回実施するものもあるので、日数で提示した。また、事業のアンケート結果を見ると、特に若年層から、実験が楽しかったなどの反響が多く寄せられ、満足度は高いと思われる。27年度については、アンケートの他に今年度から始めたスタンプカードの持参割合で客観的に満足度(再参加度)を見ていきたい。	200日・満足度80%スタンプカード持参率20%以上	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】土・日の体験者への対応 【改善案】来館者、特に若年層のニーズを考え、土・日は科学館にすれば、何かしら体験することができるという体制作りをした。
有識者所見 ・利用者の年齢から考えると改善案は有効と思われます。リピーター増が期待できる。【戸枝】					
②講演会・講座					
A. 回数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 種類と回数、参加者数 ・参加者は満足しているか 	4回	展示運営協力会講演会1回、企画展に関わる講演会3回、プラネタリウム講演会2回、産業遺産に関するミニシンポジウム1回、千葉学講座1回(前年比+1回)	4回	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】特になし 【改善案】
有識者所見 ・企画展関連の講演会は必要です。今後も関連講演会、ギャラリートーク等を実施してください。【戸枝】					

大項目 中項目 細目	評価の視点	自己評価			課題と改善案
		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
9.情報の発信					
①県民への直接的情報提供					
A. 電話・来館面接等の質問	・件数と対応状況	前年度並みの対応	交通アクセスから専門的な質問まで、質問内容が多岐にわたるため、各課で対応している。また、今年度はプラネタリウムに対する質問が非常に多かった。	前年度のようにきちんとした対応をする	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・質問は活動のヒントにもなります。記録し、共有してください。【戸枝】			
②メディア					
A. 館事業(含調査研究)の情報提供	・提供件数 ・掲載件数の状況	100件	目標数には及ばなかったがNHK首都圏ネットワーク・テレビ東京ワールドビジネスサテライト等で取り上げていただくことができた。情報誌(雑誌)だけでなく、ネットでの情報提供にも力をいれた。	100件	【課題】 【改善案】
有識者所見		・露出数が増えてきていると思います。引き続き、メディアへ情報提供してください。【戸枝】 ・どのように今後発信していくのか?【黒田】			
③ホームページ					
A. ホームページによる情報発信	・更新件数 ・資料登録件数の状況 ・アクセス数の状況	・更新回数100回	更新166回 アクセス280,259件(前年度比+151,089件、約217%増) プラネタリウムの時期は、事業の人気度と1日に1回のこまめな更新が増加につながったと考える。	・更新回数150回	【課題】更新期間の短縮 【改善案】さらに短期間で更新できるような方策を考えていく。
有識者所見					
④刊行物					
A. 印刷物による広報	・種類と部数 ・配付等の状況	イベント情報、年に5回のチラシ、科学館ニュース等	チラシや刊行物は、予定通り配布できたが、時期が間際になってしまうものがあつたので、早めに配布を完了させたい。また、配布先については、適宜見直し、効果的な配布を目指したい。	配布先を拡大する。	【課題】年度当初の配布 【改善案】年度当初の配布がスムーズにいくよう担当を詳細にわけ、課員一丸となって全員で取り組むようにした。
有識者所見		・結果所見について実施するようにしてください。配布先と配付時期に活用されたい。【戸枝】			
10.県民参画					
①県民との協働					
A. ボランティア	・ボランティア活用システムの構築 ・登録者数と活動状況 ・育成のための研修等の実施状況	・登録者数は30名、活動件数は400件	・活用システム構築は登録年数の見直しを実施した ・登録者数は35名、活動件数は435件 ・育成研修については、大学との連携を図り、学生ボランティアを受入れた。また、事業の実施日に先立ち、事前研修を実施した。	・登録者数は30名、活動件数は400件、ボランティア会議の実施	【課題】特になし 【改善案】いずれは、ボランティアだけで一部の工作教室の講座が組めるような状況を作っていきたい。
B. 県民からの情報提供	・情報入手体制の状況 ・対応状況		各種の講座やイベントに参加される県民とのかわりを通して、情報収集に努めている		【課題】特になし 【改善案】
C. 友の会	・会員数(増減) ・活動状況(館との連携・単独事業)		休会中		【課題】特になし 【改善案】休会中のため、現状では特に課題はないが、友の会の存続については、更なる検討を進めたい。
有識者所見		・結果所見について継続して、取り組んでください。【戸枝】 ・学生ボランティアの活用は学校連携の意味でも今後推進して欲しい。【黒田】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②外部との連携・調査					
A. 実施の状況	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 実施状況 	前年度並みの実施	展示・運営協力会 ※展示・運営協力会の各事業を開館20周年記念事業として実施 展示会(11会員参加32,554名) サイエンスショー(5会員参加438名) 実験工作教室(11会員16講座参加 581名) (※抽選による受講数) 講演会 展示・運営協力会開館20周年記念連講演会ーさかなクンのギョギョッとびっくりお魚のヒミツー(280名) 東邦大学連携事業(150名) NPO法人くらしとバイオプラザ21連携事業(76名) 木更津工業高等専門学校連携事業(106名) いちかわ環境フェア(10,723名) 子どもがつくるまち「ミニ★いちかわ2014(1,853名) いちかわ産フェスタ(50,000名) 鬼高さんしゃ祭(22,500名)	展示・運営協力会については講座講演会事業の参加者数を増加させる。その他の連携事業も10回程程度の目標とするが、昨年度より内容を充実したものとする	【課題】連携の活性化 【改善案】展示・運営協力会とは、講演会等多方面の協力が得られ、多くの来館者から好評を得ている。更なる連携の活性化のため、ボランティア活動などを検討する。
有識者所見・連携がうまくいったと思います。目標値に向かって実施してください。学校との連絡は続けてください。【戸枝】					
11.人材育成					
①博物館実習					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	10名程度	受入要項に基づき、学芸員資格取得希望者に実施 実績4大学5名(これまで受入れ実績のある大学は延べ33校)	10名程度	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見・館の特徴上、実習希望者が少ないのではないのでしょうか。継続して受け入れて下さい。【戸枝】					
②教員等研修					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	前年度並みの実施	6回・163名 申込みがあったものは全て対応した。	5回程度	【課題】 【改善案】
有識者所見・継続してください。実績が利用者を掘り起こしの要因になると考えます。【戸枝】					
③職場体験学習・インターンシップ					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	前年度並みの実施	職場体験11校31人、職場訪問3校58人、インターンシップ1校1人	職場体験10校、職場訪問2校、インターンシップ2校	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見・継続してください。実績が利用者を掘り起こしの要因になると考えます。【戸枝】					
12.県民等からの依頼による学習支援					
①展示等の活用					
A. 解説の回数、利用者数と満足度	<ul style="list-style-type: none"> 回数と利用者数 利用者ニーズの把握状況 	前年度並みの実施	解説ツアーは、団体見学の要望に応じて、54回1,404名参加した。なお、団体申込受付にあたり必ず解説ツアーの希望の有無を確認している。解説タイムは、一般入館者対応で平日2回、土日祝日1回の計176回1,057名が参加した。また、ジメンスタイム(電車の解説)をイベントのない土日祝日に1回実施し、36回378名が参加した。さらに、スマホを利用した音声ガイドの活用を目指した。	解説ツアー50回、解説タイム150回、ジメンスタイム150回	【課題】音声ガイドの活用が少ない 【改善案】
有識者所見・解説ツアーは展示理解に有効です。継続してください。団体等はどの展示に反応を示していますか。解説方法を考える上で参考にしたらどうですか。【戸枝】					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目		自己評価			
細目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
②館内での講座・講演会					
A. 回数、利用者数と満足度	・回数と利用者数 ・利用者ニーズの把握状況		特になし。館の事業運営上、依頼があれば対応することは可能である		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見					
③学校連携					
A. 学校団体の受入	・受入校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	学校団体160(前年度比+50校)、内訳は小学校88、中学校4、高校6、大学2、特別支援学校11、幼稚園49	学校団体150校程度	【課題】年齢層の偏り 【改善案】職場体験などを通して行き来のある中学校には、利用の促進を呼び掛けていく
B. 出前授業	・実施校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	18回908名(前年度比±0回、+205人)、大人数での要望にも対応した。内訳は、学校関係8、社会教育施設10であった。	20回	【課題】担当者の負担増 【改善案】主担当はいても、ある特定の職員に集中しないよう複数のチームを作って対応していく
有識者所見		・雨天周遊コースの利用の割合はどうでしょうか。【戸枝】 ・目標値に向かって実施してください。改善策のとおりだと思います。貸出キットとの関係はどうでしょうか。【戸枝】			
④外部講師依頼					
A. 依頼の状況、回数と人数	・支援体制の状況 ・回数と参加者数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	1件31名、社会教育施設(図書館)からの依頼。(なお、H25は「千葉県の産業遺産とその活用を考える」シンポジウム9回分の講師を結果にカウントしているため、件数が多い。)	2件以上	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・特定者の負担増にならないようにしてください。【戸枝】			
13.地域づくりへの支援					
①地域との連携事業					
A. 機関・地域住民等との連携	・実施状況(種類と件数) ・ニーズの把握の状況	60件	地元自治体、地元商工会議所、県立高校、展示・運営協力会、県教育振興財団等との連携事業を実施した。隣接地に商業施設があるため、天候に恵まれれば参加者は多い。なお、1団体でいくつものイベントを実施することがあるので、団体数で表示する。(23団体)	20団体	【課題】特になし 【改善案】今後も地域との連携を深めたい
有識者所見					
②観光資源としての活用					
A. 県外団体来館数	・団体数 ・地域等の傾向	前年度並みを目指す	地域別では、東京41、神奈川3、茨城2、埼玉2など。特に東京東部の団体が多い。	50団体	【課題】地域の利用促進 【改善案】引き続き、隣接する東京都の江戸川区・葛飾区には、定期的に情報を発信していく
B. 外国人入場者数	・利用者数 ・地域等の傾向	前年度並みを目指す	253名(前年度比+8名) 国別人数は不明であるが中国(台湾)、韓国のほかマレーシア等。	250名	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・継続して動向を把握し、効果的な広報を行うようにしてください。【戸枝】 ・外国人利用者は個人利用か団体利用か、企業内研修として、館を利用してもらうような方策を検討したらどうか。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
1.使命と計画					
①中長期計画					
A. 目標と計画・重点事業の構築、事業への活用	<ul style="list-style-type: none"> 目標の設定、具体的計画の策定状況 事業への活用状況 	策定した目標・計画を履行した	24年度に館内会議等を経て構築された再構築基本計画を職員に周知した上で、実施している。24年度～26年度までの目標である「①特別展開催(25年度)、②サイエンスドームでの映画上映(25年度)、③音声ガイドの提供(25年度～)、④教員のための博物館の日の開催(26年度～)、⑤展示・運営協力会の20周年記念事業への参画(26年度)についてはおおむね達成されたと考えている。	再構築基本計画に基づき、27年度～の5カ年計画の実践とそと合わせた内容の改訂	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・再構築基本計画に沿って実施してください。【戸枝】			
②評価の実施					
A. 評価の実施と結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価及び外部評価の実施状況 P.D.C.A.サイクルへの反映状況 	自己評価・外部評価については、毎年実施している	主な事業について、1月末に館内で報告会を行い、改善点・課題等について、職員全員で情報等を共有、改善できる点については改善を実施し、次年度に繋げられるような方策を考えた。	指摘のあった点については、さらに改善を進めたい	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・結果所見について継続してください。報告等の蓄積が必要と思います。【戸枝】			
2.組織と運営等					
①組織・人員					
A. 職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> 研修への参加体制の整備状況 参加状況(種類・件数・人数) 	専門職員としての研修・県職員としての研修等に積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計事務基礎研修 1 ・財務会計事務実務研修 1 ・財務会計年度末事務研修 1 ・コンプライアンス研修 1 ・メンタルヘルス研修 1 ・トップセミナー 1 ・新所属長研修 1 ・育成指導者研修 2 ・新規再任用職員研修 1 ・主査級研修 1 ・危機管理担当者研修 1 ・博物館長研修 1 ・教育庁転入職員等研修 2 ・博物館学芸員専門講座 1 ・千葉県博物館・美術館等職員研修 2 ・文化財管理指導者研修 1 ・千葉県博物館協会研修会 1 ・関東地区博物館協会研修 1 ・学芸員専門研修アドバンスト・コース 2 ・ミュージアムIPM研修(初級) 1 	昨年度に加え、専門職員としての研修・県職員としての研修等に積極的に参加する。	【課題】専門研修の受講者が少ない 【改善案】可能な限り職員を研修に出し、学芸員としての知識の習得に励めるような状況を作っていきたい。
有識者所見		・研修とともに他館が実施している各種、関係する催物等にも参加し、事業の開催方法を参考にすることも考えたらどうでしょう。【戸枝】			
②県民ニーズに則した運営					
A. 利用者数	<ul style="list-style-type: none"> 当該年度の利用者数 前年度比較による傾向 	入館者数180,000人を目指します。	26年度は195,808人。前年度比34,421人増。開館20周年や入場者500万人のイベントを始め、夏のプラネタリウムの入館者が大幅に増えたため、総来館者も増加した。	入館者数185,000人を目指します。	【課題】団体利用者の大半が雨天時に集中する 【改善案】晴天時でも来てもらえるような体験等の充実を図る
B. 満足度・ニーズ等の調査	<ul style="list-style-type: none"> 実施方法と結果 結果の事業への反映状況 	継続	利用者からの声を通年で受け付けている。また、企画展等で行うアンケート調査から、利用者ニーズの把握に努めた	継続	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・団体の貸出キットの紹介も行った方が良いと思います。雨天時利用の属性調査が必要と思います。(どの方面から、学年は、時間、人気のある展示は)【戸枝】 ・天候に関係なく来館者が利用したくなるような、各年齢層に魅力的な体験プログラムの開発を引き続き優先的に行ってほしい。【黒田】			

大項目 中項目 細目	評価の視点	自己評価			課題と改善案
		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
3.施設・設備					
①アメニティーの向上					
A. バリアフリー	・バリアフリー対策の実施状況	継続	バリアフリーに対応している。1階と2階の展示室の移動はエレベーターで対応している。また、サイエンスドームへは、車いすも2階から入ることができる。	継続	【課題】エレベーターの容量が小さく、一度に車いすがぎりぎり2台しか乗らない。 【改善案】エレベーターの容量を大きくするのが一番だが、多額の費用がかかり現実的でない。
B. アクセス	・交通機関(含誘致)と駐車場の状況 ・アクセス案内の状況	継続	普通車80台、大型バス8台分のスペースを確保、市川市コミュニティバス停留所が敷地内にある。また、館の前には京成バスのバス停が新たにできた。なお、アクセス案内はHPに写真入りでアップしている。	継続	【課題】特になし 【改善案】
C. ミュージアムショップ	・利用者満足度とニーズの把握状況 ・結果の反映状況	継続	入館者から寄せられた商品のニーズについては、運営元の県教育振興財団に伝え、販売実現を依頼した。	継続	【課題】週1日(土・日いずれか)程度しか開いていない。 【改善案】団体等から事前に話があれば職員が対応する。また、今後の運営方法について、協議している。
有識者所見		・最寄駅(鬼越)から館までの案内看板について検討が必要と思われる。【戸枝】			
4.財源					
①予算の確保					
A. 入場料収入・その他の事業収入	・当初計画に対する収入の達成状況 ・その他の収入の状況	11,186千円 2,217千円	プラネタリウムが好調だったため、前年度に比べて収入増になった(トータルの収入では、昨年度比1.82倍、851万円増)。今後も収入確保のため、有料入場者数増への取り組みが必要である。 概ね目標値どおりの結果であった	15,192千円 2,693千円	【課題】入館者は増えているが無料入館者が多いため、収入増にはなかなか結び付かない 【改善案】体験者に付き添いの大人からの入館料の増収を目指す
有識者所見		・改善案については、検討が必要でしょう。参加者減少になっては、元も子もなくなる。【戸枝】			
②館独自の財源獲得					
A. 外部助成金等の獲得	・獲得計画に対する達成状況	2件以上	1件 480千円 ・全国科学系博物館活動等助成 480千円(特別展資料制作委託他)	2件以上	【課題】採択件数の増加 【改善案】申請数の増加
有識者所見		・継続し、獲得するよう努力してください。イベント時に、材料費(現物)等の協賛がいただけるようになりませんか。【戸枝】 ・採択されたケースと不採択となったケースを比較分析し、新たに申請を行う際に、採択に至ったノウハウを館内で共有生かした欲しい。【黒田】			
5.収集・保存及び活用					
①資料の管理と収集					
A. 収蔵点数と収集点数	・収蔵資料の件数と点数 ・新収集資料の件数と点数	前年度並みの点数を目指します。	①購入 91点 (H26:1点) ②寄付 1,761点 (H26:324点) ※寄託から寄付へ変更 ③保管換え 693点 ④寄託 5件6点(H26:-291点) ⑤借用 2点 (開館以来の累計) 2,553点	購入費のための外部助成金の獲得数1件以上	【課題】購入等予算の確保 【改善案】購入費のため、外部助成金の獲得等を進める。
B. 登録	・収蔵資料の管理(台帳等整備)状況	100%	100% 受入と同時に登録した。	100%	【課題】特になし 【改善案】
C. 維持管理と修復・保存処理	・定期的な維持管理の実施状況 ・資料の修復作業・保存処理の状況	収蔵庫の週1回の安全点検 毎日の状況報告 週1回の点検報告	定期的な維持管理を行った。また、収蔵庫に関しては温・湿度記録を定期的にチェックし管理を徹底した。	収蔵庫の週1回の安全点検 毎日の状況確認 週1回の点検報告	【課題】収蔵品の状況にあわせた修理計画の作成 【改善案】修理の緊急度に順位付けを行い、予算の範囲内で修理を行う。実験装置の稼働率を向上させるため、状況を詳細に確認して、早めの修復を行う。
有識者所見		・館として収集する必要がある資料等をリスト化する。【戸枝】 ・稼働展示物に故障がないようにしてください。改善案に沿って行ってください。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②資料の活用					
A. 要望に応じた貸出等	・研究や展示等、資料の貸出状況	2件以上	実物資料貸与件数2件(50点)	2件以上	【課題】特になし 【改善案】本館の収蔵資料が他館の展示に利用されるケースが少ないのでデータベースの構築を継続する
有識者所見		・改善案に沿って進んでください。展示資料が抜けるのは避ける。資料の特徴から借用件数は少ないでしょう。【戸枝】			
③図書室の公開					
A. 図書資料の閲覧	・閲覧システムの構築状況 ・利用状況と利用者満足度	継続	子ども向け図書、一般・専門書籍を配架し開館時間内は自由に閲覧可能。必要に応じて職員が対応。収蔵冊数15,840冊(前年度比404冊増)。	継続	【課題】図書購入費がない 【改善案】各館協力して予算要求を進める
有識者所見		・継続して予算要求してください。【戸枝】			
6.調査・研究					
①調査事業					
A. 調査事業の件数	・使命に基づく調査研究の実施状況	7件	(研究報告5件) これらは、研究報告成果としてHPで公開している。その他、各自が使命に基づいた研究テーマを設定し調査・研究を行った。	7件	【課題】継続的な調査の実施 【改善案】報告内容について単年度事業が多い状況だが、年度を越えた長期の調査実施する。
有識者所見					
②外部との調査・研究					
A. 外部との調査研究の件数	・共同研究等の実施状況	2件以上	0件	2件以上	【課題】外部と共同研究が可能なベテラン学芸員の確保 【改善案】若手・中堅職員について、短期間で異動する職員人事を是正してもらうよう主務課に依頼。
有識者所見		・館の性格上、外部研究機関との共同研究は難しいと思いますが、貸出キットや教材研究開発も探ってみてください。【戸枝】			
③研究成果の発表					
A. 展示等への反映	・展示への反映状況 ・普及事業への反映状況	7件	5件 (H25:4件) 企画展 広報(館内サイン) 学校支援(総合的な学習)利用(プラネタリウム上映会) 学校連携(教員のための博物館の日)	7件 (可能であれば印刷・発刊)	【課題】反映数の増加 【改善案】企画展での研究成果が常設展示で活かされる様、長期的な視野で研究を行う
有識者所見		・改善案に沿って進んでください。【戸枝】			
7.展示					
①常設展示					
A. 展示の更新と保守・点数	・展示替の実施状況 ・保守・管理の実施状況		・外部予算(全国博物館助成)により、特別展で作成した実験装置を常設展示に追加。 ・企業協力により常設展示に新規展示の追加(痛みの少ない注射針, 無反射フィルム) ・保守点検業務 常設展示保守点検業務 展示映像機器保守点検業務 電カシアター保守点検 鉄鋼シアター保守点検 川鉄千葉1号高炉模型保守点検 液体窒素製造装置保守点検 電子顕微鏡保守点検 炎色反応実験装置保守点検 の年間契約を結び、延べ約50回の点検を実施。 緊急点検「ウォーターロケット」の衝撃吸収ダンパ、「うずまき」水位センサ調整 部品交換「放電実験室」浴面ガラス昇降モータ		【課題】新規展示の追加 装置の老朽化による故障の増加 サイエンズドームの有効活用 【改善案】展示・運営協会やそれ以外の企業などへの調査活動・展示資料の提供依頼などを計画的に進めていく。 展示場の大型装置の修繕維持計画を作成し予算化に努める。 点検結果による合理的な保守計画 サイエンズドーム開催事業の活性化

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目	評価の視点				
B. 満足度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度の把握状況 結果の反映状況 		<p>来館者アンケートを実施している。アンケート内容を見ると、プラネタリウムを明るくしてほしいなどの要望系のものが多い。ただ、現実的には要望にすぐ答えられる内容のものは少ない。</p>		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		<p>・展示の特徴上、メンテナンスは必需です。不具合がないよう注意を払ってください。【戸枝】</p> <p>・入場者のニーズや要望に対して、その本質を見極めることが重要です。すぐにできるか、できないかではなくその背景から改善点を見いだすべきと考えます。【飯田】</p>			
②企画展示(変更)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 年齢・地域等入場者の動向把握 来館者満足度の状況 	前年度並みの満足度	<p>生物のたくみなデザイン・機能・しくみを紹介し、そこから着想を得た新しい技術が、私たちの生活にどのような変革をもたらすかを考える機会とし、展示・関連イベントの2つの提示方法で計画し実施した。それぞれ各年齢層に対応するようにした。</p> <p>【講演会】 (168人) 「みんなでミクロの世界を探検しよう」「深海の生き物の観察から進化を探る」「ミクロの決死隊 ナノスーツ法の秘密」「電子顕微鏡ってな～んだ?」「モルフォチョウをまねたものづくり」「生き物が教えてくれる未来のテクノロジー」</p> <p>【関連イベント】 「顕微鏡体験」(133人) 「ハチドリひこうきワークショップ」(134人)「透明な液体に漬けると色が変わる模倣タマムシ」(54人)「驚異の生命力、ネムリユスリカ」(30人) 「ぶつからないロボットカー実演」(39人) 「日産わくわくエコスクール」(50人)「千葉県少年少女発明クラブ絵画展」「市川工業高等学校インテリア科バイオメテイクス関連展示」 現代産業科学館展示・運営協力会主催開館20周年記念講演会「さかなクンのギョギョッとびっくりお魚のヒミツ」(280人)</p> <p>小学生が40%台、例年は1～2%の割合である20代と大学生が、今回の企画展では多いことが特徴であった。実際、高校生・大学生の入館者数は例年の2倍近くであった。ポスターを例年に比べ、より多くの高等学校や大学に配布したためと会期後半に口コミやSNSなどで広まったことが要因と思われる。</p> <p>“とてもおもしろかった”と“おもしろかった”をあわせて96%が良い評価をくださった。工業製品だけでなく、生物についても紹介しており、これまで気づかなかったことを改めて知ることにより関心を深めることができたためではないか。</p>	80%以上の満足度。	【課題】各年齢層への対応 【改善案】幅広い年齢層に合わせた展示で多くの来館者を迎えること下できた。特に、高校生大学生が著しく増加した。展示の手法に加え、例年よりも広範囲に広報したことが功を奏したものである。
有識者所見		<p>・企画展開催に伴う広報効果か、露出数が増えた。【戸枝】</p> <p>・関連するイベントの参加者が増えた。効果的なイベントであった。【戸枝】</p> <p>・共同研究のヒントになると思います。【戸枝】</p> <p>・高校、大学生の専門はなんでしょうか。【戸枝】</p> <p>・定員に対する充足率が低かったイベントがなぜそうなったのか、などを分析把握し、次回企画時に、その分析を生かしてほしい。効果的な広報ができたことがうかがえる。今後を生かして欲しい。【黒田】</p>			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
③企画展示(変更なし)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 年齢・地域等入場者の動向把握 来館者満足度の状況 	10回程度	<ul style="list-style-type: none"> ○特設コーナー(5回) ・風洞実験装置 ・千葉工業大学工学部デザイン科学科 ・日本大学生産工学部創生デザイン学科 ・市川工業高等学校インテリア科関連展示(企画展関連) ・バイオミメティクス ミニ展示(企画展関連展示) ○ワークショップ ・フライトシミュレーター 52回 1,075名 ○ドームギャラリー(4回) ・白熱電球(48,391人) ・メグスターへの道(69,317人) ・真空管展(53,446人) ・深海展(20,537人) ○エントランスホール ・企画展関連展示 ・T型フォード ・スバル360 	10回程度の目標とするが、昨年度より内容を充実したものとする	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】広報宣伝予算の確保 【改善案】インターネット等を利用した広報を促進するとともに、話題性の高い展示を行う
有識者所見 ・高校、大学等との連携がうまくいったと思う。今後も連携を進めてください。【戸枝】					
④館外での展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況(要望件数等) ・利用者が満足しているか 	0件	展示に関する要望は特に無いが、年間17件の出張講座の依頼があり、848人に希望する実験等を演示した。	0件	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】主な資料が現在産業の資料のため、なかなか館外では展示しにくい。 【改善案】代わりに出張講座等の体験講座を実施している。
有識者所見					
⑤他館との合同企画による展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況(ネットワーク) ・利用者が満足しているか 	0件	理工系の博物館のため、なかなか他館との合同企画にはそぐわない。また、資料運搬費等の予算の目途が立たないため事業の実施を推進できない。	0件	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】予算の獲得 【改善案】企画展示には至らないが、資料の借用・貸与などの連携はひろげていきたい。
有識者所見 ・結果所見のとおりだと思います。常に連携の機会を探ってください。【戸枝】					
8.教育普及事業					
①参加体験事業					
A. 日数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 種類と日数、参加者数 ・参加者は満足しているか 	200回・満足度80%	202日(前年度比+15回) 実験工作・体験教室(158)/サイエンスショー(5)/講座(14)/乗車会(12)/上映会(1)/イベント(9)/コンサート(3) ※1日に最大10回実施するものもあるので、日数で提示した。また、事業のアンケート結果を見ると、特に若年層から、実験が楽しかったなどの反響が多く寄せられ、満足度は高いと思われる。27年度については、アンケートの他に今年度から始めたスタンプカードの持参割合で客観的に満足度(再参加度)を見ていきたい。	200日・満足度80%スタンプカード持参率20%以上	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】土・日の体験者への対応 【改善案】来館者、特に若年層のニーズを考え、土・日は科学館にすれば、何かしら体験することができるという体制作りをした。
有識者所見 ・利用者の年齢から考えると改善案は有効と思われます。リピーター増が期待できる。【戸枝】					
②講演会・講座					
A. 回数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 種類と回数、参加者数 ・参加者は満足しているか 	4回	展示運営協力会講演会1回、企画展に関わる講演会3回、プラネタリウム講演会2回、産業遺産に関するミニシンポジウム1回、千葉学講座1回(前年比+1回)	4回	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】特になし 【改善案】
有識者所見 ・企画展関連の講演会は必要です。今後も関連講演会、ギャラリートーク等を実施してください。【戸枝】					

大項目 中項目 細目	評価の視点	自己評価			課題と改善案
		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
9.情報の発信					
①県民への直接的情報提供					
A. 電話・来館面接等の質問	・件数と対応状況	前年度並みの対応	交通アクセスから専門的な質問まで、質問内容が多岐にわたるため、各課で対応している。また、今年度はプラネタリウムに対する質問が非常に多かった。	前年度のようにきちんとした対応をする	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・質問は活動のヒントにもなります。記録し、共有してください。【戸枝】			
②メディア					
A. 館事業(含調査研究)の情報提供	・提供件数 ・掲載件数の状況	100件	目標数には及ばなかったがNHK首都圏ネットワーク・テレビ東京ワールドビジネスサテライト等で取り上げていただくことができた。情報誌(雑誌)だけでなく、ネットでの情報提供にも力をいれた。	100件	【課題】 【改善案】
有識者所見		・露出数が増えてきていると思います。引き続き、メディアへ情報提供してください。【戸枝】 ・どのように今後発信していくのか?【黒田】			
③ホームページ					
A. ホームページによる情報発信	・更新件数 ・資料登録件数の状況 ・アクセス数の状況	・更新回数100回	更新166回 アクセス280,259件(前年度比+151,089件、約217%増) プラネタリウムの時期は、事業の人気度と1日に1回のこまめな更新が増加につながったと考える。	・更新回数150回	【課題】更新期間の短縮 【改善案】さらに短期間で更新できるような方策を考えていく。
有識者所見					
④刊行物					
A. 印刷物による広報	・種類と部数 ・配付等の状況	イベント情報、年に5回のチラシ、科学館ニュース等	チラシや刊行物は、予定通り配布できたが、時期が間際になってしまうものがあつたので、早めに配布を完了させたい。また、配布先については、適宜見直し、効果的な配布を目指したい。	配布先を拡大する。	【課題】年度当初の配布 【改善案】年度当初の配布がスムーズにいくよう担当を詳細にわけ、課員一丸となって全員で取り組むようにした。
有識者所見		・結果所見について実施するようにしてください。配布先と配付時期に活用されたい。【戸枝】			
10.県民参画					
①県民との協働					
A. ボランティア	・ボランティア活用システムの構築 ・登録者数と活動状況 ・育成のための研修等の実施状況	・登録者数は30名、活動件数は400件	・活用システム構築は登録年数の見直しを実施した ・登録者数は35名、活動件数は435件 ・育成研修については、大学との連携を図り、学生ボランティアを受入れた。また、事業の実施日に先立ち、事前研修を実施した。	・登録者数は30名、活動件数は400件、ボランティア会議の実施	【課題】特になし 【改善案】いずれは、ボランティアだけで一部の工作教室の講座が組めるような状況を作っていきたい。
B. 県民からの情報提供	・情報入手体制の状況 ・対応状況		各種の講座やイベントに参加される県民とのかわりを通して、情報収集に努めている		【課題】特になし 【改善案】
C. 友の会	・会員数(増減) ・活動状況(館との連携・単独事業)		休会中		【課題】特になし 【改善案】休会中のため、現状では特に課題はないが、友の会の存続については、更なる検討を進めたい。
有識者所見		・結果所見について継続して、取り組んでください。【戸枝】 ・学生ボランティアの活用は学校連携の意味でも今後推進して欲しい。【黒田】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②外部との連携・調査					
A. 実施の状況	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 実施状況 	前年度並みの実施	展示・運営協力会 ※展示・運営協力会の各事業を開館20周年記念事業として実施 展示会(11会員参加32,554名) サイエンスショー(5会員参加438名) 実験工作教室(11会員16講座参加 581名) (※抽選による受講数) 講演会 展示・運営協力会開館20周年記念連講演会ーさかなクンのギョギョッとびっくりお魚のヒミツー(280名) 東邦大学連携事業(150名) NPO法人くらしとバイオプラザ21連携事業(76名) 木更津工業高等専門学校連携事業(106名) いちかわ環境フェア(10,723名) 子どもがつくるまち「ミニ★いちかわ2014(1,853名) いちかわ産フェスタ(50,000名) 鬼高さんしゃ祭(22,500名)	展示・運営協力会については講座講演会事業の参加者数を増加させる。その他の連携事業も10回程程度の目標とするが、昨年度より内容を充実したものとする	【課題】連携の活性化 【改善案】展示・運営協力会とは、講演会等多方面の協力が得られ、多くの来館者から好評を得ている。更なる連携の活性化のため、ボランティア活動などを検討する。
有識者所見・連携がうまくいったと思います。目標値に向かって実施してください。学校との連絡は続けてください。【戸枝】					
11.人材育成					
①博物館実習					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	10名程度	受入要項に基づき、学芸員資格取得希望者に実施 実績4大学5名(これまで受入れ実績のある大学は延べ33校)	10名程度	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見・館の特徴上、実習希望者が少ないのではないのでしょうか。継続して受け入れて下さい。【戸枝】					
②教員等研修					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	前年度並みの実施	6回・163名 申込みがあったものは全て対応した。	5回程度	【課題】 【改善案】
有識者所見・継続してください。実績が利用者を掘り起こしの要因になると考えます。【戸枝】					
③職場体験学習・インターンシップ					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	前年度並みの実施	職場体験11校31人、職場訪問3校58人、インターンシップ1校1人	職場体験10校、職場訪問2校、インターンシップ2校	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見・継続してください。実績が利用者を掘り起こしの要因になると考えます。【戸枝】					
12.県民等からの依頼による学習支援					
①展示等の活用					
A. 解説の回数、利用者数と満足度	<ul style="list-style-type: none"> 回数と利用者数 利用者ニーズの把握状況 	前年度並みの実施	解説ツアーは、団体見学の要望に応じて、54回1,404名参加した。なお、団体申込受付にあたり必ず解説ツアーの希望の有無を確認している。解説タイムは、一般入館者対応で平日2回、土日祝日1回の計176回1,057名が参加した。また、ジメンスタイム(電車の解説)をイベントのない土日祝日に1回実施し、36回378名が参加した。さらに、スマホを利用した音声ガイドの活用を目指した。	解説ツアー50回、解説タイム150回、ジメンスタイム150回	【課題】音声ガイドの活用が少ない 【改善案】
有識者所見・解説ツアーは展示理解に有効です。継続してください。団体等はどの展示に反応を示していますか。解説方法を考える上で参考にしたらどうですか。【戸枝】					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②館内での講座・講演会					
A. 回数、利用者数と満足度	・回数と利用者数 ・利用者ニーズの把握状況		特になし。館の事業運営上、依頼があれば対応することは可能である		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見					
③学校連携					
A. 学校団体の受入	・受入校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	学校団体160(前年度比+50校)、内訳は小学校88、中学校4、高校6、大学2、特別支援学校11、幼稚園49	学校団体150校程度	【課題】年齢層の偏り 【改善案】職場体験などを通して行き来のある中学校には、利用の促進を呼び掛けていく
B. 出前授業	・実施校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	18回908名(前年度比±0回、+205人)、大人数での要望にも対応した。内訳は、学校関係8、社会教育施設10であった。	20回	【課題】担当者の負担増 【改善案】主担当はいても、ある特定の職員に集中しないよう複数のチームを作って対応していく
・雨天周遊コースの利用の割合はどうでしょうか。【戸枝】 ・目標値に向かって実施してください。改善策のとおりだと思います。貸出キットとの関係はどうでしょうか。【戸枝】					
④外部講師依頼					
A. 依頼の状況、回数と人数	・支援体制の状況 ・回数と参加者数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	1件31名、社会教育施設(図書館)からの依頼。(なお、H25は「千葉県の産業遺産とその活用を考える」シンポジウム9回分の講師を結果にカウントしているため、件数が多い。)	2件以上	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見					
・特定者の負担増にならないようにしてください。【戸枝】					
13.地域づくりへの支援					
①地域との連携事業					
A. 機関・地域住民等との連携	・実施状況(種類と件数) ・ニーズの把握の状況	60件	地元自治体、地元商工会議所、県立高校、展示・運営協力会、県教育振興財団等との連携事業を実施した。隣接地に商業施設があるため、天候に恵まれれば参加者は多い。なお、1団体でいくつものイベントを実施することがあるので、団体数で表示する。(23団体)	20団体	【課題】特になし 【改善案】今後も地域との連携を深めたい
有識者所見					
②観光資源としての活用					
A. 県外団体来館数	・団体数 ・地域等の傾向	前年度並みを目指す	地域別では、東京41、神奈川3、茨城2、埼玉2など。特に東京東部の団体が多い。	50団体	【課題】地域の利用促進 【改善案】引き続き、隣接する東京都の江戸川区・葛飾区には、定期的に情報を発信していく
B. 外国人入場者数	・利用者数 ・地域等の傾向	前年度並みを目指す	253名(前年度比+8名) 国別人数は不明であるが中国(台湾)、韓国のほかマレーシア等。	250名	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見					
・継続して動向を把握し、効果的な広報を行うようにしてください。【戸枝】 ・外国人利用者は個人利用か団体利用か、企業内研修として、館を利用してもらうような方策を検討したらどうか。【戸枝】					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
1.使命と計画					
①中長期計画					
A. 目標と計画・重点事業の構築、事業への活用	<ul style="list-style-type: none"> 目標の設定、具体的計画の策定状況 事業への活用状況 	策定した目標・計画を履行した	24年度に館内会議等を経て構築された再構築基本計画を職員に周知した上で、実施している。24年度～26年度までの目標である「①特別展開催(25年度)、②サイエンスドームでの映画上映(25年度)、③音声ガイドの提供(25年度～)、④教員のための博物館の日の開催(26年度～)、⑤展示・運営協力会の20周年記念事業への参画(26年度)についてはおおむね達成されたと考えている。	再構築基本計画に基づき、27年度～の5カ年計画の実践とそと合わせた内容の改訂	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・再構築基本計画に沿って実施してください。【戸枝】			
②評価の実施					
A. 評価の実施と結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価及び外部評価の実施状況 P.D.C.A.サイクルへの反映状況 	自己評価・外部評価については、毎年実施している	主な事業について、1月末に館内で報告会を行い、改善点・課題等について、職員全員で情報等を共有、改善できる点については改善を実施し、次年度に繋げられるような方策を考えた。	指摘のあった点については、さらに改善を進めたい	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・結果所見について継続してください。報告等の蓄積が必要と思います。【戸枝】			
2.組織と運営等					
①組織・人員					
A. 職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> 研修への参加体制の整備状況 参加状況(種類・件数・人数) 	専門職員としての研修・県職員としての研修等に積極的に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計事務基礎研修 1 ・財務会計事務実務研修 1 ・財務会計年度末事務研修 1 ・コンプライアンス研修 1 ・メンタルヘルス研修 1 ・トップセミナー 1 ・新所属長研修 1 ・育成指導者研修 2 ・新規再任用職員研修 1 ・主査級研修 1 ・危機管理担当者研修 1 ・博物館長研修 1 ・教育庁転入職員等研修 2 ・博物館学芸員専門講座 1 ・千葉県博物館・美術館等職員研修 2 ・文化財管理指導者研修 1 ・千葉県博物館協会研修会 1 ・関東地区博物館協会研修 1 ・学芸員専門研修アドバンスト・コース 2 ・ミュージアムIPM研修(初級) 1 	昨年度に加え、専門職員としての研修・県職員としての研修等に積極的に参加する。	【課題】専門研修の受講者が少ない 【改善案】可能な限り職員を研修に出し、学芸員としての知識の習得に励めるような状況を作っていきたい。
有識者所見		・研修とともに他館が実施している各種、関係する催物等にも参加し、事業の開催方法等を参考にすることも考えたらどうでしょう。【戸枝】			
②県民ニーズに則した運営					
A. 利用者数	<ul style="list-style-type: none"> 当該年度の利用者数 前年度比較による傾向 	入館者数180,000人を目指します。	26年度は195,808人。前年度比34,421人増。開館20周年や入場者500万人のイベントを始め、夏のプラネタリウムの入館者が大幅に増えたため、総来館者も増加した。	入館者数185,000人を目指します。	【課題】団体利用者の大半が雨天時に集中する 【改善案】晴天時でも来てもらえるような体験等の充実を図る
B. 満足度・ニーズ等の調査	<ul style="list-style-type: none"> 実施方法と結果 結果の事業への反映状況 	継続	利用者からの声を通年で受け付けている。また、企画展等で行うアンケート調査から、利用者ニーズの把握に努めた	継続	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・団体の貸出キットの紹介も行ったら良いと思います。雨天時利用の属性調査が必要と思います。(どの方面から、学年は、時間、人気のある展示は)【戸枝】 ・天候に関係なく来館者が利用したくなるような、各年齢層に魅力的な体験プログラムの開発を引き続き優先的に行ってほしい。【黒田】			

大項目 中項目 細目	評価の視点	自己評価			課題と改善案
		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
3.施設・設備					
①アメニティーの向上					
A. バリアフリー	・バリアフリー対策の実施状況	継続	バリアフリーに対応している。1階と2階の展示室の移動はエレベーターで対応している。また、サイエンスドームへは、車いすも2階から入ることができる。	継続	【課題】エレベーターの容量が小さく、一度に車いすがぎりぎり2台しか乗らない。 【改善案】エレベーターの容量を大きくするのが一番だが、多額の費用がかかり現実的でない。
B. アクセス	・交通機関(含誘致)と駐車場の状況 ・アクセス案内の状況	継続	普通車80台、大型バス8台分のスペースを確保、市川市コミュニティバス停留所が敷地内にある。また、館の前には京成バスのバス停が新たにできた。なお、アクセス案内はHPに写真入りでアップしている。	継続	【課題】特になし 【改善案】
C. ミュージアムショップ	・利用者満足度とニーズの把握状況 ・結果の反映状況	継続	入館者から寄せられた商品のニーズについては、運営元の県教育振興財団に伝え、販売実現を依頼した。	継続	【課題】週1日(土・日いずれか)程度しか開いていない。 【改善案】団体等から事前に話があれば職員が対応する。また、今後の運営方法について、協議している。
有識者所見		・最寄駅(鬼越)から館までの案内看板について検討が必要と思われる。【戸枝】			
4.財源					
①予算の確保					
A. 入場料収入・その他の事業収入	・当初計画に対する収入の達成状況 ・その他の収入の状況	11,186千円 2,217千円	プラネタリウムが好調だったため、前年度に比べて収入増になった(トータルの収入では、昨年度比1.82倍、851万円増)。今後も収入確保のため、有料入場者数増への取り組みが必要である。 概ね目標値どおりの結果であった	15,192千円 2,693千円	【課題】入館者は増えているが無料入館者が多いため、収入増にはなかなか結び付かない 【改善案】体験者に付き添いの大人からの入館料の増収を目指す
有識者所見		・改善案については、検討が必要でしょう。参加者減少になっては、元も子もなくなる。【戸枝】			
②館独自の財源獲得					
A. 外部助成金等の獲得	・獲得計画に対する達成状況	2件以上	1件 480千円 ・全国科学系博物館活動等助成 480千円(特別展資料制作委託他)	2件以上	【課題】採択件数の増加 【改善案】申請数の増加
有識者所見		・継続し、獲得するよう努力してください。イベント時に、材料費(現物)等の協賛がいただけるようになりませんか。【戸枝】 ・採択されたケースと不採択となったケースを比較分析し、新たに申請を行う際に、採択に至ったノウハウを館内で共有生かした欲しい。【黒田】			
5.収集・保存及び活用					
①資料の管理と収集					
A. 収蔵点数と収集点数	・収蔵資料の件数と点数 ・新収集資料の件数と点数	前年度並みの点数を目指します。	①購入 91点 (H26:1点) ②寄付 1,761点 (H26:324点) ※寄託から寄付へ変更 ③保管換え 693点 ④寄託 5件6点(H26:-291点) ⑤借用 2点 (開館以来の累計) 2,553点	購入費のための外部助成金の獲得数1件以上	【課題】購入等予算の確保 【改善案】購入費のため、外部助成金の獲得等を進める。
B. 登録	・収蔵資料の管理(台帳等整備)状況	100%	100% 受入と同時に登録した。	100%	【課題】特になし 【改善案】
C. 維持管理と修復・保存処理	・定期的な維持管理の実施状況 ・資料の修復作業・保存処理の状況	収蔵庫の週1回の安全点検 毎日の状況報告 週1回の点検報告	定期的な維持管理を行った。また、収蔵庫に関しては温・湿度記録を定期的にチェックし管理を徹底した。	収蔵庫の週1回の安全点検 毎日の状況確認 週1回の点検報告	【課題】収蔵品の状況にあわせた修理計画の作成 【改善案】修理の緊急度に順位付けを行い、予算の範囲内で修理を行う。実験装置の稼働率を向上させるため、状況を詳細に確認して、早めの修復を行う。
有識者所見		・館として収集する必要がある資料等をリスト化する。【戸枝】 ・稼働展示物に故障がないようにしてください。改善案に沿って行ってください。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②資料の活用					
A. 要望に応じた貸出等	・研究や展示等、資料の貸出状況	2件以上	実物資料貸与件数2件(50点)	2件以上	【課題】特になし 【改善案】本館の収蔵資料が他館の展示に利用されるケースが少ないのでデータベースの構築を継続する
有識者所見		・改善案に沿って進んでください。展示資料が抜けるのは避ける。資料の特徴から借用件数は少ないでしょう。【戸枝】			
③図書室の公開					
A. 図書資料の閲覧	・閲覧システムの構築状況 ・利用状況と利用者満足度	継続	子ども向け図書、一般・専門書籍を配架し開館時間内は自由に閲覧可能。必要に応じて職員が対応。収蔵冊数15,840冊(前年度比404冊増)。	継続	【課題】図書購入費がない 【改善案】各館協力して予算要求を進める
有識者所見		・継続して予算要求してください。【戸枝】			
6.調査・研究					
①調査事業					
A. 調査事業の件数	・使命に基づく調査研究の実施状況	7件	(研究報告5件) これらは、研究報告成果としてHPで公開している。その他、各自が使命に基づいた研究テーマを設定し調査・研究を行った。	7件	【課題】継続的な調査の実施 【改善案】報告内容について単年度事業が多い状況だが、年度を越えた長期の調査実施する。
有識者所見					
②外部との調査・研究					
A. 外部との調査研究の件数	・共同研究等の実施状況	2件以上	0件	2件以上	【課題】外部と共同研究が可能なベテラン学芸員の確保 【改善案】若手・中堅職員について、短期間で異動する職員人事を是正してもらうよう主務課に依頼。
有識者所見		・館の性格上、外部研究機関との共同研究は難しいと思いますが、貸出キットや教材研究開発も探ってみてください。【戸枝】			
③研究成果の発表					
A. 展示等への反映	・展示への反映状況 ・普及事業への反映状況	7件	5件 (H25:4件) 企画展 広報(館内サイン) 学校支援(総合的な学習)利用(プラネタリウム上映会) 学校連携(教員のための博物館の日)	7件 (可能であれば印刷・発刊)	【課題】反映数の増加 【改善案】企画展での研究成果が常設展示で活かされる様、長期的な視野で研究を行う
有識者所見		・改善案に沿って進んでください。【戸枝】			
7.展示					
①常設展示					
A. 展示の更新と保守・点数	・展示替の実施状況 ・保守・管理の実施状況		・外部予算(全国博物館助成)により、特別展で作成した実験装置を常設展示に追加。 ・企業協力により常設展示に新規展示の追加(痛みの少ない注射針, 無反射フィルム) ・保守点検業務 常設展示保守点検業務 展示映像機器保守点検業務 電カシアター保守点検 鉄鋼シアター保守点検 川鉄千葉1号高炉模型保守点検 液体窒素製造装置保守点検 電子顕微鏡保守点検 炎色反応実験装置保守点検 の年間契約を結び、延べ約50回の点検を実施。 緊急点検「ウォーターロケット」の衝撃吸収ダンパ、「うずまき」水位センサ調整 部品交換「放電実験室」浴面ガラス昇降モータ		【課題】新規展示の追加 装置の老朽化による故障の増加 サイエンズドームの有効活用 【改善案】展示・運営協会やそれ以外の企業などへの調査活動・展示資料の提供依頼などを計画的に進めていく。 展示場の大型装置の修繕維持計画を作成し予算化に努める。 点検結果による合理的な保守計画 サイエンズドーム開催事業の活性化

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目	評価の視点				
B. 満足度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度の把握状況 結果の反映状況 		<p>来館者アンケートを実施している。アンケート内容を見ると、プラネタリウムを明るくしてほしいなどの要望系のものが多い。ただ、現実的には要望にすぐ答えられる内容のものは少ない。</p>		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		<p>・展示の特徴上、メンテナンスは必需です。不具合がないよう注意を払ってください。【戸枝】</p> <p>・入場者のニーズや要望に対して、その本質を見極めることが重要です。すぐにできるか、できないかではなくその背景から改善点を見いだすべきと考えます。【飯田】</p>			
②企画展示(変更)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 年齢・地域等入場者の動向把握 来館者満足度の状況 	前年度並みの満足度	<p>生物のたくみなデザイン・機能・しくみを紹介し、そこから着想を得た新しい技術が、私たちの生活にどのような変革をもたらすかを考える機会とし、展示・関連イベントの2つの提示方法で計画し実施した。それぞれ各年齢層に対応するようにした。</p> <p>【講演会】 (168人) 「みんなでミクロの世界を探検しよう」「深海の生き物の観察から進化を探る」「ミクロの決死隊 ナノスーツ法の秘密」「電子顕微鏡ってな〜んだ?」「モルフォチョウをまねたものづくり」「生き物が教えてくれる未来のテクノロジー」</p> <p>【関連イベント】 「顕微鏡体験」(133人) 「ハチドリひこうきワークショップ」(134人)「透明な液体に漬けると色が変わる模倣タマムシ」(54人)「驚異の生命力、ネムリユスリカ」(30人) 「ぶつからないロボットカー実演」(39人) 「日産わくわくエコスクール」(50人)「千葉県少年少女発明クラブ絵画展」「市川工業高等学校インテリア科バイオメテイクス関連展示」 現代産業科学館展示・運営協力会主催開館20周年記念講演会「さかなクンのギョギョッとびっくりお魚のヒミツ」(280人)</p> <p>小学生が40%台、例年は1~2%の割合である20代と大学生が、今回の企画展では多いことが特徴であった。実際、高校生・大学生の入館者数は例年の2倍近くであった。ポスターを例年に比べ、より多くの高等学校や大学に配布したためと会期後半に口コミやSNSなどで広まったことが要因と思われる。</p> <p>“とてもおもしろかった”と“おもしろかった”をあわせて96%が良い評価をくださった。工業製品だけでなく、生物についても紹介しており、これまで気づかなかったことを改めて知ることにより関心を深めることができたためではないか。</p>	80%以上の満足度。	【課題】各年齢層への対応 【改善案】 幅広い年齢層に合わせた展示で多くの来館者を迎えること下できた。特に、高校生大学生が著しく増加した。展示の手法に加え、例年よりも広範囲に広報したことが功を奏したものである。
有識者所見		<p>・企画展開催に伴う広報効果か、露出数が増えた。【戸枝】</p> <p>・関連するイベントの参加者が増えた。効果的なイベントであった。【戸枝】</p> <p>・共同研究のヒントになると思います。【戸枝】</p> <p>・高校、大学生の専門はなんでしょうか。【戸枝】</p> <p>・定員に対する充足率が低かったイベントがなぜそうなったのか、などを分析把握し、次回企画時に、その分析を生かしてほしい。効果的な広報ができたことがうかがえる。今後を生かして欲しい。【黒田】</p>			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
③企画展示(変更なし)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況 年齢・地域等入場者の動向把握 来館者満足度の状況 	10回程度	<ul style="list-style-type: none"> ○特設コーナー(5回) ・風洞実験装置 ・千葉工業大学工学部デザイン科学科 ・日本大学生産工学部創生デザイン学科 ・市川工業高等学校インテリア科関連展示(企画展関連) ・バイオミメティクス ミニ展示(企画展関連展示) ○ワークショップ ・フライトシミュレーター 52回 1,075名 ○ドームギャラリー(4回) ・白熱電球(48,391人) ・メガスターへの道(69,317人) ・真空管展(53,446人) ・深海展(20,537人) ○エントランスホール ・企画展関連展示 ・T型フォード ・スバル360 	10回程度の目標とするが、昨年度より内容を充実したものとする	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】広報宣伝予算の確保 【改善案】インターネット等を利用した広報を促進するとともに、話題性の高い展示を行う
有識者所見 ・高校、大学等との連携がうまくいったと思う。今後も連携を進めてください。【戸枝】					
④館外での展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況(要望件数等) ・利用者が満足しているか 	0件	展示に関する要望は特に無いが、年間17件の出張講座の依頼があり、848人に希望する実験等を演示した。	0件	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】主な資料が現在産業の資料のため、なかなか館外では展示しにくい。 【改善案】代わりに出張講座等の体験講座を実施している。
有識者所見					
⑤他館との合同企画による展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況(ネットワーク) ・利用者が満足しているか 	0件	理工系の博物館のため、なかなか他館との合同企画にはそぐわない。また、資料運搬費等の予算の目途が立たないため事業の実施を推進できない。	0件	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】予算の獲得 【改善案】企画展示には至らないが、資料の借用・貸与などの連携はひろげていきたい。
有識者所見 ・結果所見のとおりだと思います。常に連携の機会を探ってください。【戸枝】					
8.教育普及事業					
①参加体験事業					
A. 日数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 種類と日数、参加者数 ・参加者は満足しているか 	200回・満足度80%	202日(前年度比+15回) 実験工作・体験教室(158)/サイエンスショー(5)/講座(14)/乗車会(12)/上映会(1)/イベント(9)/コンサート(3) ※1日に最大10回実施するものもあるので、日数で提示した。また、事業のアンケート結果を見ると、特に若年層から、実験が楽しかったなどの反響が多く寄せられ、満足度は高いと思われる。27年度については、アンケートの他に今年度から始めたスタンプカードの持参割合で客観的に満足度(再参加度)を見ていきたい。	200日・満足度80%スタンプカード持参率20%以上	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】土・日の体験者への対応 【改善案】来館者、特に若年層のニーズを考え、土・日は科学館にすれば、何かしら体験することができるという体制作りをした。
有識者所見 ・利用者の年齢から考えると改善案は有効と思われます。リピーター増が期待できる。【戸枝】					
②講演会・講座					
A. 回数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> 種類と回数、参加者数 ・参加者は満足しているか 	4回	展示運営協力会講演会1回、企画展に関わる講演会3回、プラネタリウム講演会2回、産業遺産に関するミニシンポジウム1回、千葉学講座1回(前年比+1回)	4回	<ul style="list-style-type: none"> 【課題】特になし 【改善案】
有識者所見 ・企画展関連の講演会は必要です。今後も関連講演会、ギャラリートーク等を実施してください。【戸枝】					

大項目 中項目 細目	評価の視点	自己評価			課題と改善案
		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
9.情報の発信					
①県民への直接的情報提供					
A. 電話・来館面接等の質問	・件数と対応状況	前年度並みの対応	交通アクセスから専門的な質問まで、質問内容が多岐にわたるため、各課で対応している。また、今年度はプラネタリウムに対する質問が非常に多かった。	前年度のようにきちんとした対応をする	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・質問は活動のヒントにもなります。記録し、共有してください。【戸枝】			
②メディア					
A. 館事業(含調査研究)の情報提供	・提供件数 ・掲載件数の状況	100件	目標数には及ばなかったがNHK首都圏ネットワーク・テレビ東京ワールドビジネスサテライト等で取り上げていただくことができた。情報誌(雑誌)だけでなく、ネットでの情報提供にも力をいれた。	100件	【課題】 【改善案】
有識者所見		・露出数が増えてきていると思います。引き続き、メディアへ情報提供してください。【戸枝】 ・どのように今後発信していくのか?【黒田】			
③ホームページ					
A. ホームページによる情報発信	・更新件数 ・資料登録件数の状況 ・アクセス数の状況	・更新回数100回	更新166回 アクセス280,259件(前年度比+151,089件、約217%増) プラネタリウムの時期は、事業の人気度と1日に1回のこまめな更新が増加につながったと考える。	・更新回数150回	【課題】更新期間の短縮 【改善案】さらに短期間で更新できるような方策を考えていく。
有識者所見					
④刊行物					
A. 印刷物による広報	・種類と部数 ・配付等の状況	イベント情報、年に5回のチラシ、科学館ニュース等	チラシや刊行物は、予定通り配布できたが、時期が間際になってしまうものがあつたので、早めに配布を完了させたい。また、配布先については、適宜見直し、効果的な配布を目指したい。	配布先を拡大する。	【課題】年度当初の配布 【改善案】年度当初の配布がスムーズにいくよう担当を詳細にわけ、課員一丸となって全員で取り組むようにした。
有識者所見		・結果所見について実施するようにしてください。配布先と配付時期に活用されたい。【戸枝】			
10.県民参画					
①県民との協働					
A. ボランティア	・ボランティア活用システムの構築 ・登録者数と活動状況 ・育成のための研修等の実施状況	・登録者数は30名、活動件数は400件	・活用システム構築は登録年数の見直しを実施した ・登録者数は35名、活動件数は435件 ・育成研修については、大学との連携を図り、学生ボランティアを受入れた。また、事業の実施日に先立ち、事前研修を実施した。	・登録者数は30名、活動件数は400件、ボランティア会議の実施	【課題】特になし 【改善案】いずれは、ボランティアだけで一部の工作教室の講座が組めるような状況を作っていきたい。
B. 県民からの情報提供	・情報入手体制の状況 ・対応状況		各種の講座やイベントに参加される県民とのかわりを通して、情報収集に努めている		【課題】特になし 【改善案】
C. 友の会	・会員数(増減) ・活動状況(館との連携・単独事業)		休会中		【課題】特になし 【改善案】休会中のため、現状では特に課題はないが、友の会の存続については、更なる検討を進めたい。
有識者所見		・結果所見について継続して、取り組んでください。【戸枝】 ・学生ボランティアの活用は学校連携の意味でも今後推進して欲しい。【黒田】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②外部との連携・調査					
A. 実施の状況	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 実施状況 	前年度並みの実施	展示・運営協力会 ※展示・運営協力会の各事業を開館20周年記念事業として実施 展示会(11会員参加32,554名) サイエンスショー(5会員参加438名) 実験工作教室(11会員16講座参加 581名) (※抽選による受講数) 講演会 展示・運営協力会開館20周年記念連講演会ーさかなクンのギョギョッとびっくりお魚のヒミツー(280名) 東邦大学連携事業(150名) NPO法人くらしとバイオプラザ21連携事業(76名) 木更津工業高等専門学校連携事業(106名) いちかわ環境フェア(10,723名) 子どもがつくるまち「ミニ★いちかわ2014(1,853名) いちかわ産フェスタ(50,000名) 鬼高さんしゃ祭(22,500名)	展示・運営協力会については講座講演会事業の参加者数を増加させる。その他の連携事業も10回程程度の目標とするが、昨年度より内容を充実したものとする	【課題】連携の活性化 【改善案】展示・運営協力会とは、講演会等多方面の協力が得られ、多くの来館者から好評を得ている。更なる連携の活性化のため、ボランティア活動などを検討する。
有識者所見・連携がうまくいったと思います。目標値に向かって実施してください。学校との連絡は続けてください。【戸枝】					
11.人材育成					
①博物館実習					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	10名程度	受入要項に基づき、学芸員資格取得希望者に実施 実績4大学5名(これまで受入れ実績のある大学は延べ33校)	10名程度	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見・館の特徴上、実習希望者が少ないのではないのでしょうか。継続して受け入れて下さい。【戸枝】					
②教員等研修					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	前年度並みの実施	6回・163名 申込みがあったものは全て対応した。	5回程度	【課題】 【改善案】
有識者所見・継続してください。実績が利用者を掘り起こしの要因になると考えます。【戸枝】					
③職場体験学習・インターンシップ					
A. 回数・人数	<ul style="list-style-type: none"> 受入態勢等の構築状況 回数、校数と参加者数 	前年度並みの実施	職場体験11校31人、職場訪問3校58人、インターンシップ1校1人	職場体験10校、職場訪問2校、インターンシップ2校	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見・継続してください。実績が利用者を掘り起こしの要因になると考えます。【戸枝】					
12.県民等からの依頼による学習支援					
①展示等の活用					
A. 解説の回数、利用者数と満足度	<ul style="list-style-type: none"> 回数と利用者数 利用者ニーズの把握状況 	前年度並みの実施	解説ツアーは、団体見学の要望に応じて、54回1,404名参加した。なお、団体申込受付にあたり必ず解説ツアーの希望の有無を確認している。解説タイムは、一般入館者対応で平日2回、土日祝日1回の計176回1,057名が参加した。また、ジメンスタイム(電車の解説)をイベントのない土日祝日に1回実施し、36回378名が参加した。さらに、スマホを利用した音声ガイドの活用を目指した。	解説ツアー50回、解説タイム150回、ジメンスタイム150回	【課題】音声ガイドの活用が少ない 【改善案】
有識者所見・解説ツアーは展示理解に有効です。継続してください。団体等はどの展示に反応を示していますか。解説方法を考える上で参考にしたらどうですか。【戸枝】					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
②館内での講座・講演会					
A. 回数、利用者数と満足度	・回数と利用者数 ・利用者ニーズの把握状況		特になし。館の事業運営上、依頼があれば対応することは可能である		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見					
③学校連携					
A. 学校団体の受入	・受入校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	学校団体160(前年度比+50校)、内訳は小学校88、中学校4、高校6、大学2、特別支援学校11、幼稚園49	学校団体150校程度	【課題】年齢層の偏り 【改善案】職場体験などを通して行き来のある中学校には、利用の促進を呼び掛けていく
B. 出前授業	・実施校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	18回908名(前年度比±0回、+205人)、大人数での要望にも対応した。内訳は、学校関係8、社会教育施設10であった。	20回	【課題】担当者の負担増 【改善案】主担当はいても、ある特定の職員に集中しないよう複数のチームを作って対応していく
有識者所見		・雨天周遊コースの利用の割合はどうでしょうか。【戸枝】 ・目標値に向かって実施してください。改善策のとおりだと思います。貸出キットとの関係はどうでしょうか。【戸枝】			
④外部講師依頼					
A. 依頼の状況、回数と人数	・支援体制の状況 ・回数と参加者数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並みの実施	1件31名、社会教育施設(図書館)からの依頼。(なお、H25は「千葉県の産業遺産とその活用を考える」シンポジウム9回分の講師を結果にカウントしているため、件数が多い。)	2件以上	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・特定者の負担増にならないようにしてください。【戸枝】			
13.地域づくりへの支援					
①地域との連携事業					
A. 機関・地域住民等との連携	・実施状況(種類と件数) ・ニーズの把握の状況	60件	地元自治体、地元商工会議所、県立高校、展示・運営協力会、県教育振興財団等との連携事業を実施した。隣接地に商業施設があるため、天候に恵まれれば参加者は多い。なお、1団体でいくつものイベントを実施することがあるので、団体数で表示する。(23団体)	20団体	【課題】特になし 【改善案】今後も地域との連携を深めたい
有識者所見					
②観光資源としての活用					
A. 県外団体来館数	・団体数 ・地域等の傾向	前年度並みを目指す	地域別では、東京41、神奈川3、茨城2、埼玉2など。特に東京東部の団体が多い。	50団体	【課題】地域の利用促進 【改善案】引き続き、隣接する東京都の江戸川区・葛飾区には、定期的に情報を発信していく
B. 外国人入場者数	・利用者数 ・地域等の傾向	前年度並みを目指す	253名(前年度比+8名) 国別人数は不明であるが中国(台湾)、韓国のほかマレーシア等。	250名	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・継続して動向を把握し、効果的な広報を行うようにしてください。【戸枝】 ・外国人利用者は個人利用か団体利用か、企業内研修として、館を利用してもらうような方策を検討したらどうか。【戸枝】			